

## 第30回経営・経済動向調査

(社)関西経済連合会

大阪商工会議所

### 目 次

#### 概 要

1. 国内景気.....	1
2. 自社業況.....	2
(1) 総合判断.....	2
(2) 個別判断.....	3
3. 2008年度の設備投資計画について.....	6
(1)2008年度の設備投資計画について(全体).....	6
(2)2008年度の設備投資計画について(製造業).....	7
(3)2008年度の設備投資計画について(非製造業).....	8

### 概 要

#### 1. 調査対象

(社)関西経済連合会・大阪商工会議所の会員企業 1,911社

#### 2. 調査時期

2008年5月26日～6月6日(四半期ごとに実施)

#### 3. 調査方法

調査票の発送・回収ともFAXによる

#### 4. 回答状況

595社(うち大企業208社、中小企業387社)、有効回答率:31.1%

企業区分は中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。

製造業他:資本金3億円以下

卸売業:資本金1億円以下

小売業・サービス業:資本金5千万円以下

<今回の調査に関するお問い合わせ先>

(社)関西経済連合会 経済調査部 東浦、小林

TEL:06-6441-0102

# 1. 国内景気・・・BSI(4～6月期)は▲48.6となり、3期連続のマイナスに

(全般)

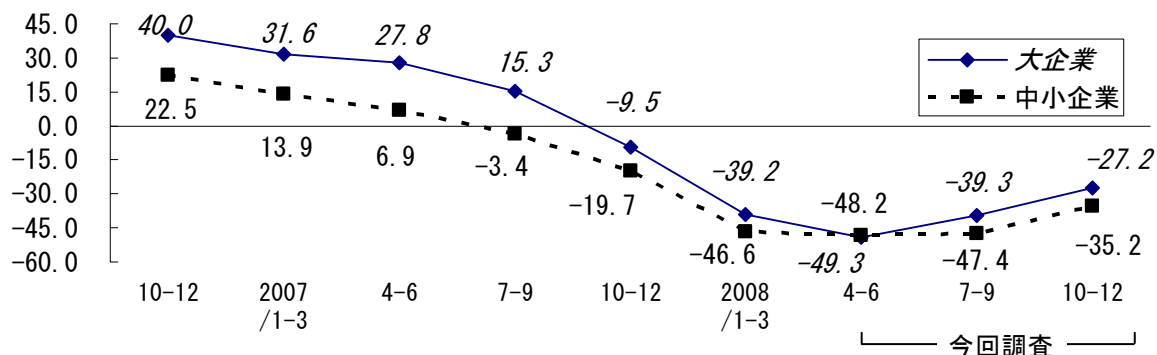
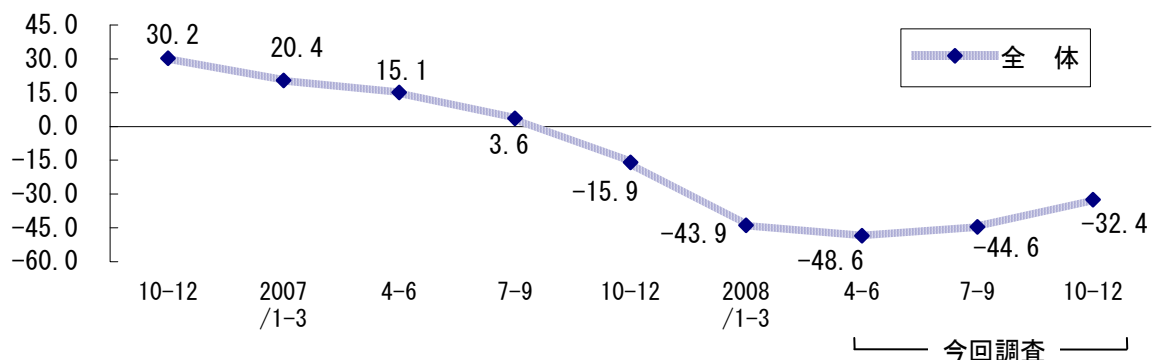
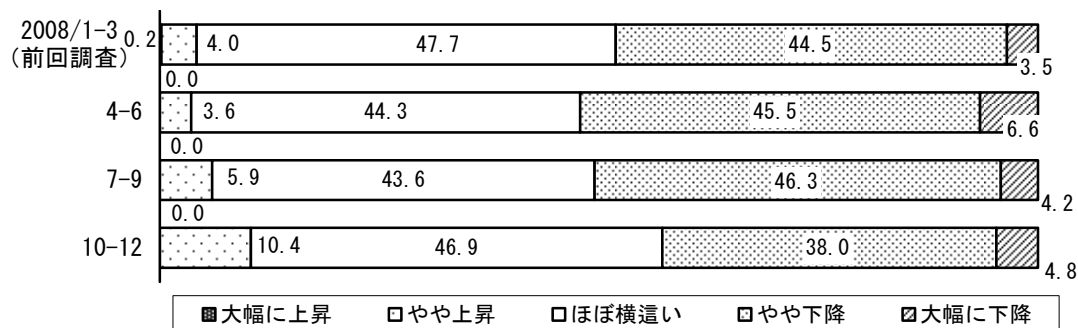
- 2008年4～6月期における国内景気の実績見込みを「上昇」（「大幅に上昇」「やや上昇」の合計、以下同じ）とみる回答は3.6%となり、前回（1～3月期）の4.2%より0.6%ポイント減少している。また、「下降」（「大幅に下降」「やや下降」の合計、以下同じ）とみる回答は、52.1%となり、前回(1～3月期)の48.0%より4.1%ポイント増加している。

以上の結果、BSI（「上昇」割合－「下降」割合、以下同じ）は、▲48.6と3期連続のマイナスとなった。

- 先行きについては、7～9月期が▲44.6、10～12月期が▲32.4と悲観的な見方となっている。

(規模別)

- 企業規模別にみると、4～6月期BSIは、大企業、中小企業とも足下、先行きともにマイナス圏で推移している。また、中小企業の方が大企業よりも厳しい見方となっている。



## 2. 自社業況

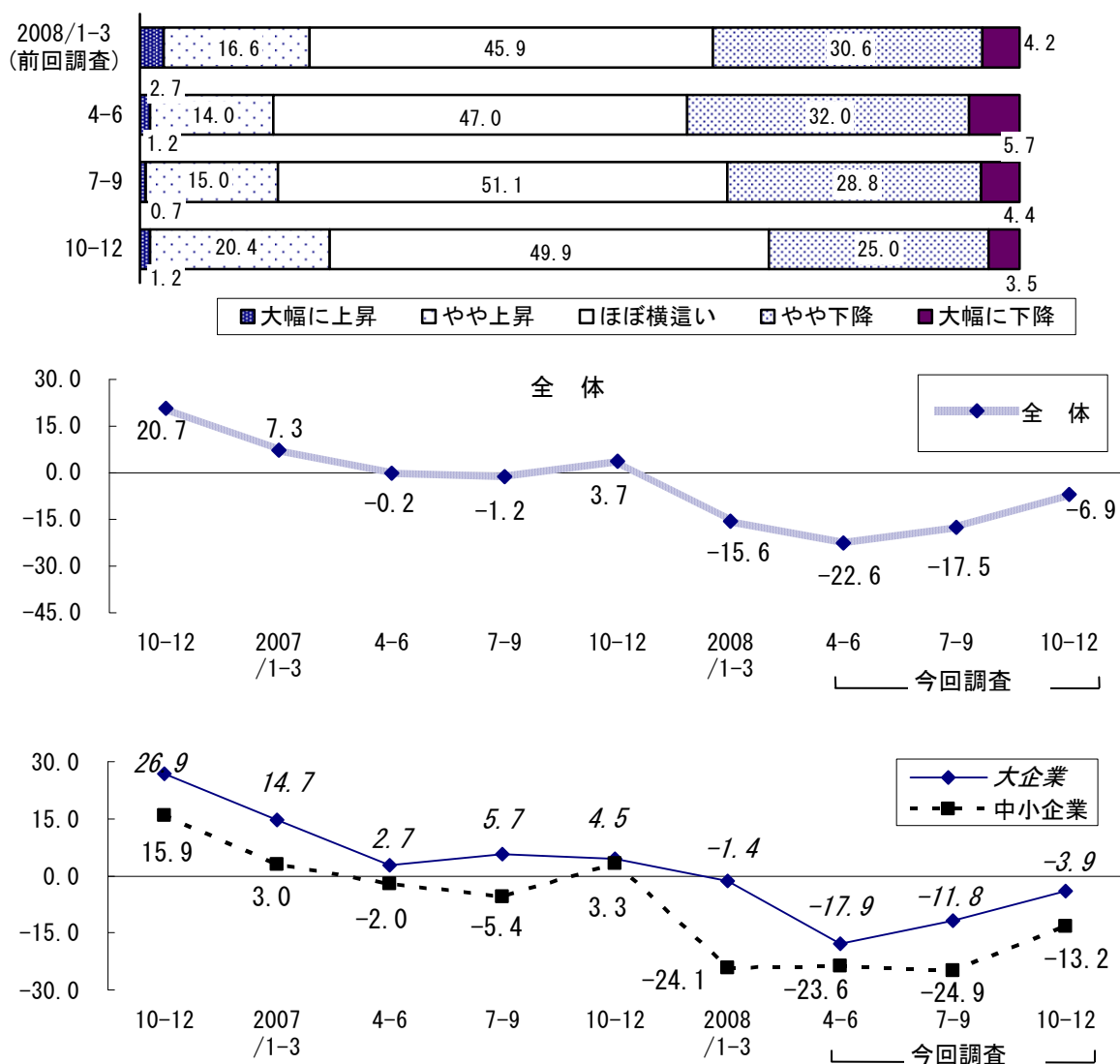
### (1) 総合判断…BSI(4～6月期)は▲22.6 とさらに下降し、先行きも弱含み

(全般)

- ・ 自社業況の総合判断は、2008年4～6月期のBSIが▲22.6で、2期連続のマイナスとなった。
- ・ 先行きについては、7～9月期が▲17.5、10～12月期が▲6.9となっており、マイナス圏での上昇となっている。

(規模別)

- ・ 企業規模別にみると、大企業・中小企業とも4～6月期のBSIは2期連続のマイナスとなった。先行きについては、マイナス圏での上昇となっているが、中小企業の方が大企業より慎重な見方となっている。



## (2) 個別判断・・・生産・売上高や経常利益の先行きに不透明感

### ➤ **生産・売上高について**

全体では2008年4～6月期実績見込みは「増加」が19.9%と、「減少」34.5%を下回っている。但し、先行きは「減少」の比率が低下しており、10～12月期には「増加」が「減少」を上回っている。

大企業では7～9月期以降、「増加」が「減少」を上回っているが、中小企業は足下、先行きとも「減少」が「増加」を上回っており、企業規模による格差が大きい。

### ➤ **製・商品の価格について**

全体では2008年4～6月期実績見込みは「上昇」が37.1%と、「下降」の9.8%を上回っている。先行きも「上昇」が「下降」を上回っている。

大企業、中小企業とも同様の傾向を示している。原油や素材など、原材料価格の高騰が影響しているものと思われる。

### ➤ **経常利益について**

全体では2008年4～6月期実績見込みは「増加」が12.9%と、「減少」の45.0%を下回っている。先行きは、「増加」が2008年7～9月期に13.5%、10～12月期に18.1%と、回復の兆しはみられるものの、依然「減少」が「増加」を大きく上回っている。

大企業では10～12月期に「増加」が「減少」を上回るが、中小企業では各期を通じて「減少」が「増加」を上回っており、厳しい状況にある。

### ➤ **雇用判断について**

全体では足下、先行きとも7～8割が「ほぼ適正」としながらも、足下、先行きとも「不足」が「過剰」を上回っている。

大企業、中小企業とも同様の傾向にあるが、中小企業の方が「過剰」感が強い。

### ➤ **製・商品在庫について**

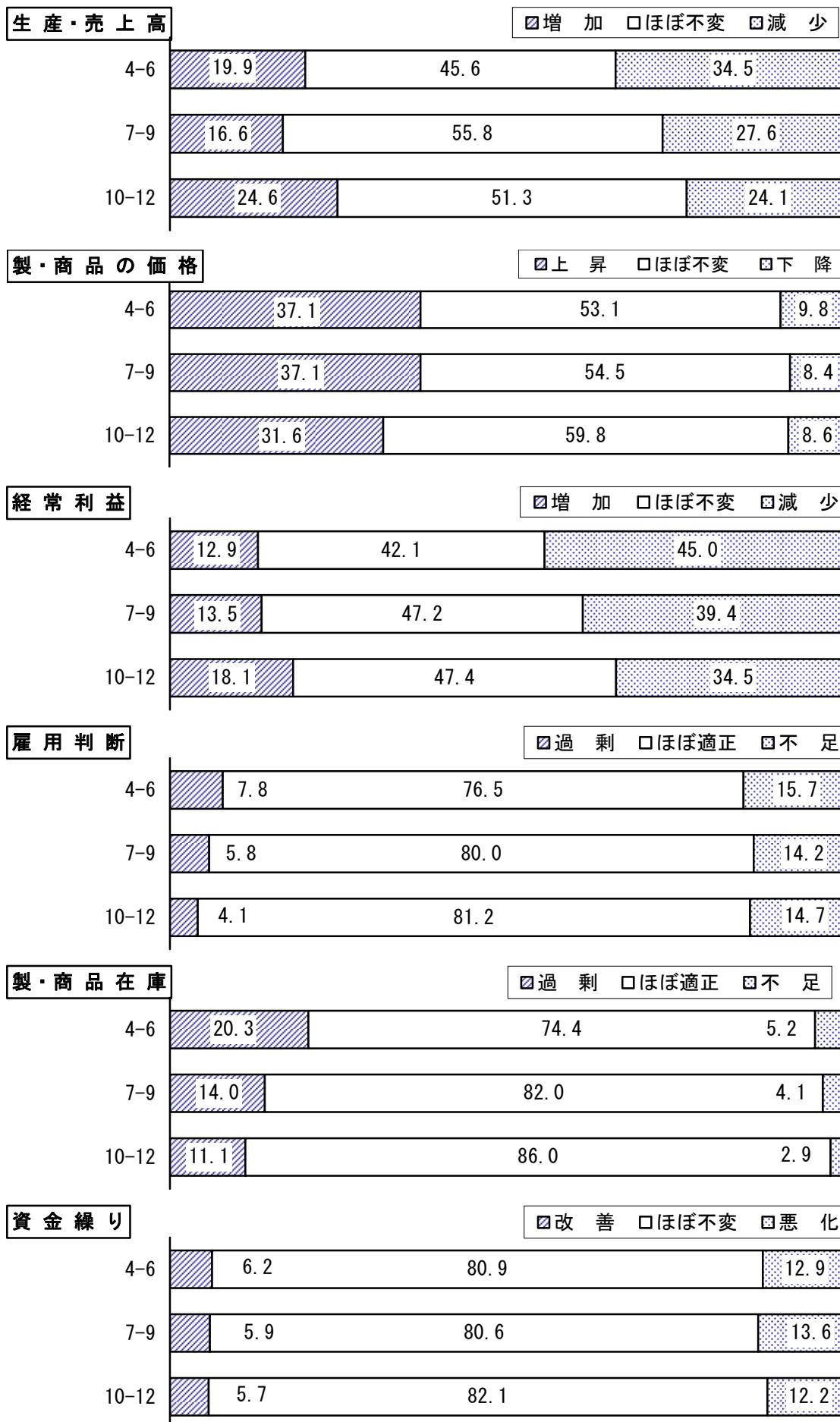
全体では2008年4～6月期実績見込みは「過剰」が20.3%、「不足」が5.2%と、「過剰」が「不足」を上回っている。一方で、先行きは「過剰」感は和らぐと見込まれている。大企業、中小企業とも同様の傾向にあるが、中小企業の方がやや「過剰」感が強い。

### ➤ **資金繰りについて**

8割の企業が「ほぼ不変」としながらも、全体では足下、先行きとも「悪化」が「改善」を上回っている。

大企業では足元、先行きとも「改善」が「悪化」を上回っている、または同数値であるのに対し、中小企業は「悪化」が「改善」を上回っており、厳しい状況にある。

## 全体集計結果



生産・売上高

	全 体			大企業			中小企業		
	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少
4-6 月期	19.9	45.6	34.5	23.0	46.4	30.6	18.3	45.2	36.6
7-9 月期	16.6	55.8	27.6	21.4	62.2	16.3	14.1	52.5	33.4
10-12 月期	24.6	51.3	24.1	28.1	56.1	15.8	22.8	48.8	28.3

製・商品の価格

	全 体			大企業			中小企業		
	上昇	ほぼ 不変	下降	上昇	ほぼ 不変	下降	上昇	ほぼ 不変	下降
4-6 月期	37.1	53.1	9.8	35.2	56.6	8.2	38.0	51.3	10.6
7-9 月期	37.1	54.5	8.4	33.2	60.7	6.1	39.1	51.3	9.6
10-12 月期	31.6	59.8	8.6	28.9	63.4	7.7	33.0	57.9	9.1

経常利益

	全 体			大企業			中小企業		
	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少	増加	ほぼ 不変	減少
4-6 月期	12.9	42.1	45.0	13.2	44.1	42.6	12.8	41.0	46.2
7-9 月期	13.5	47.2	39.4	18.6	55.9	25.5	10.7	42.6	46.7
10-12 月期	18.1	47.4	34.5	24.6	51.7	23.6	14.6	45.2	40.2

雇用判断

	全 体			大企業			中小企業		
	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足
4-6 月期	7.8	76.5	15.7	3.4	79.6	17.0	10.1	74.9	15.0
7-9 月期	5.8	80.0	14.2	2.4	82.4	15.1	7.5	78.7	13.8
10-12 月期	4.1	81.2	14.7	2.4	82.9	14.6	4.9	80.3	14.8

製・商品在庫

	全 体			大企業			中小企業		
	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足	過剰	ほぼ 適正	不足
4-6 月期	20.3	74.4	5.2	13.5	82.9	3.6	23.6	70.4	6.0
7-9 月期	14.0	82.0	4.1	6.3	91.0	2.7	17.6	77.7	4.7
10-12 月期	11.1	86.0	2.9	5.4	92.8	1.8	13.8	82.8	3.4

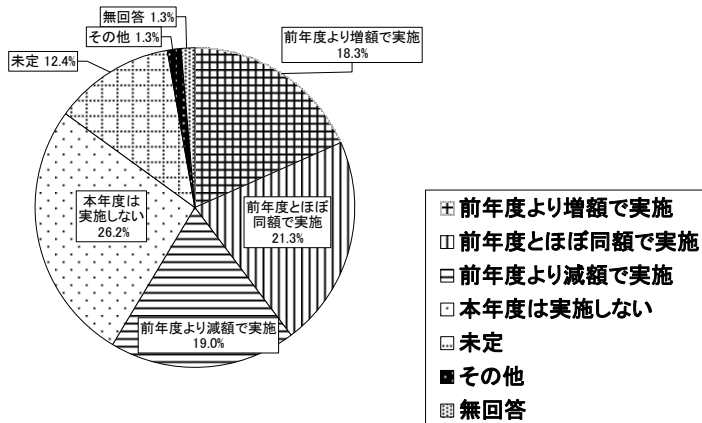
資金繰り

	全 体			大企業			中小企業		
	改善	ほぼ 不変	悪化	改善	ほぼ 不変	悪化	改善	ほぼ 不変	悪化
4-6 月期	6.2	80.9	12.9	7.1	88.3	4.6	5.7	77.1	17.2
7-9 月期	5.9	80.6	13.6	6.1	87.8	6.1	5.7	76.8	17.4
10-12 月期	5.7	82.1	12.2	6.6	87.8	5.6	5.2	79.2	15.6

### 3-1. 2008年度の設備投資計画について

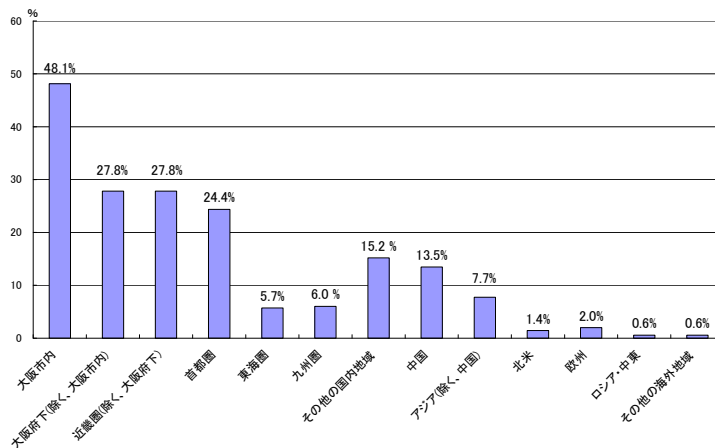
#### (1) 2008年度の設備投資計画について（回答数 595、%は小数点第2位を四捨五入）

「前年度より増額で実施」18.3%、「前年度とほぼ同額で実施」21.3%、「前年度より減額で実施」19.0%と設備投資を計画している企業が全体の58.7%を占めた（これを業種別に見ると、製造業66.8%、非製造業53.6%）。



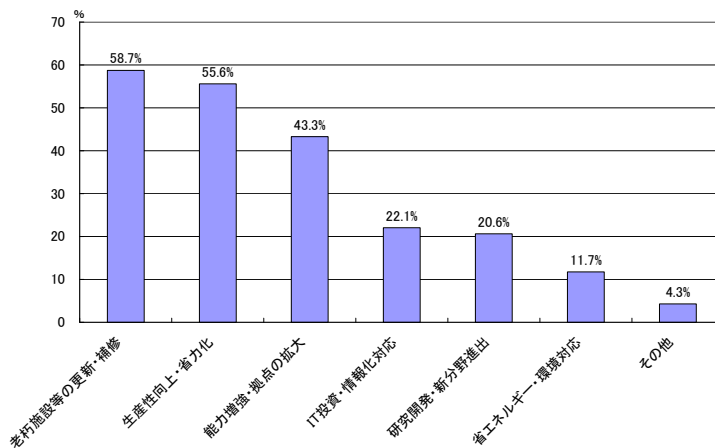
#### (2) 設備投資を行う場所について（複数回答、回答数 349）

「大阪市内」との回答が48.1%と最も多く、以下「大阪府下（大阪市内除く）」「近畿圏（大阪府下除く）」が各27.8%、「首都圏」24.4%と続いた。海外では、「中国」13.5%、「アジア（中国除く）」7.7%の順になっている。



#### (3) 設備投資を行う目的について（複数回答、回答数 349）

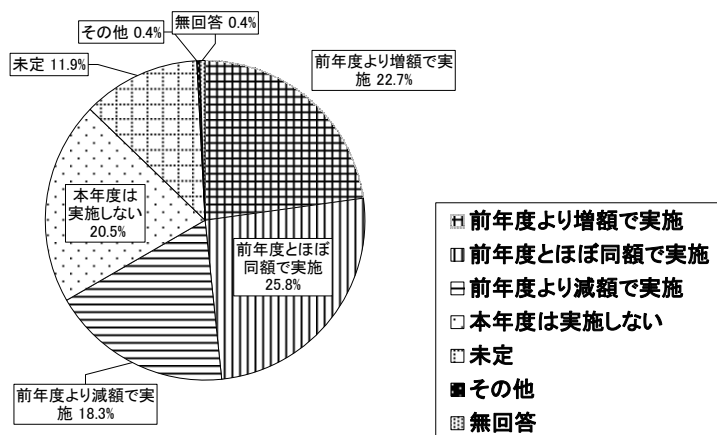
「老朽施設等の更新・補修」58.7%、「生産性向上・省力化」55.6%、「能力増強・拠点の拡大」43.3%の順。なお、製造業は、「生産性向上、省力化」が66.7%と最も多い。



### 3-2. 2008年度の設備投資計画について（製造業）

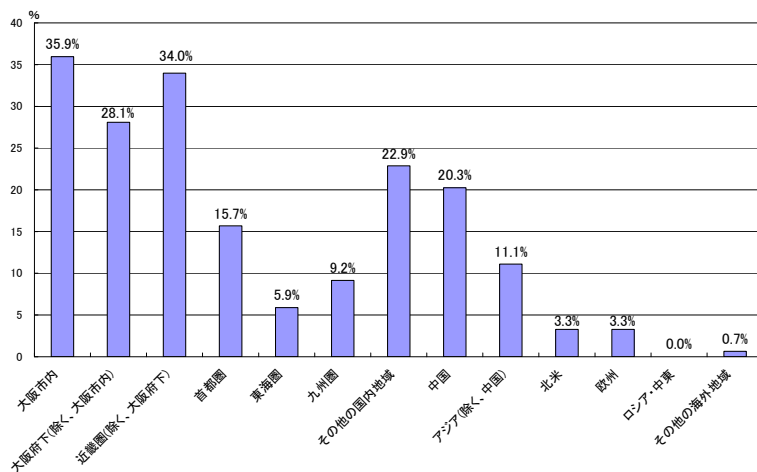
#### （1）2008年度の設備投資計画について（回答数 229、%は小数点第2位を四捨五入）

「前年度より増額で実施」22.7%、「前年度とほぼ同額で実施」25.8%、「前年度より減額で実施」18.3%と設備投資を計画している企業が全体の66.8%を占める。依然設備投資意欲は強い。



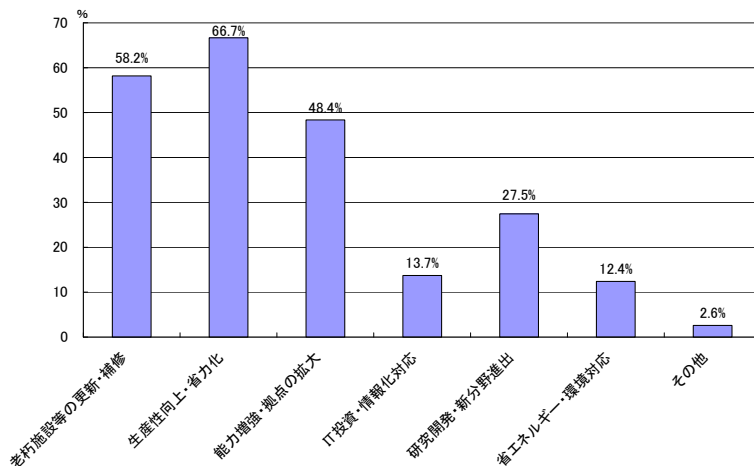
#### （2）設備投資を行う場所について（複数回答、回答数 153）

「大阪市内」との回答が35.9%と最も多く、次に「近畿圏（除く、大阪府下）」34.0%、「大阪府下（除く、大阪市）」が28.1%と続いた。海外では、「中国」が20.3%と最も多い。



#### （3）設備投資を行う目的について（複数回答、回答数 153）

「生産性向上・省力化」66.7%、「老朽施設等の更新・補修」58.2%、「能力増強・拠点の拡大」48.4%の順となっている。

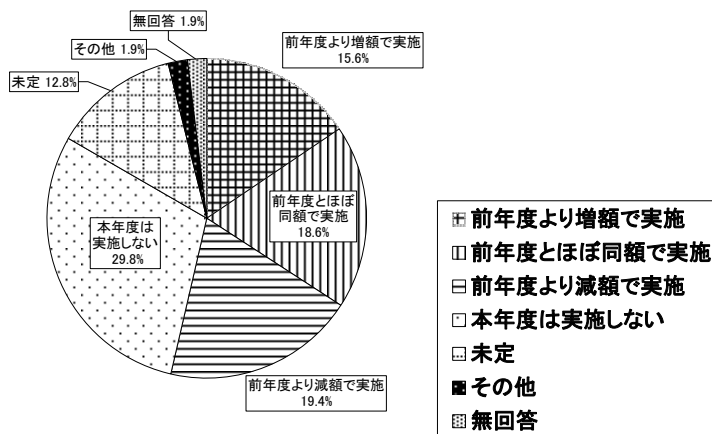




### 3-3. 2008年度の設備投資計画について（非製造業）

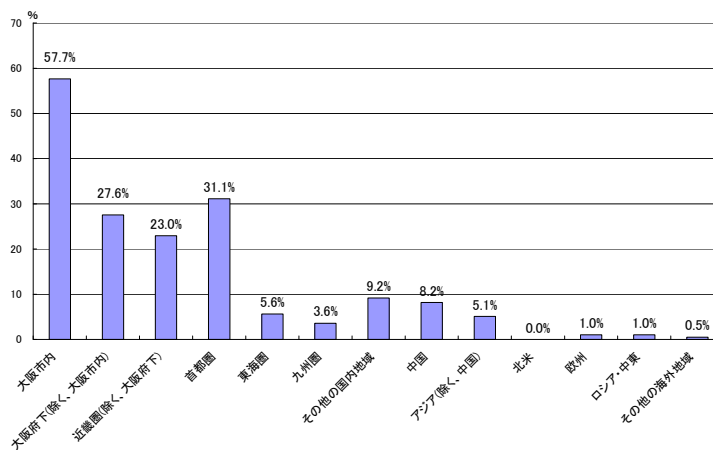
#### （1）2008年度の設備投資計画について（回答数 366、%は小数点第2位を四捨五入）

「前年度より増額で実施」15.6%、「前年度とほぼ同額で実施」18.6%、「前年度より減額で実施」19.4%と設備投資を計画している企業が全体の53.6%を占めた



#### （2）設備投資を行う場所について（複数回答、回答数 196）

「大阪市内」との回答が57.7%と圧倒的に多く、次いで「首都圏」31.1%、以下「大阪府下（除く、大阪市内）」27.6%、「近畿圏（除く、大阪府下）」23.0%と続く。海外では、「中国」が8.2%と最も多い。



#### （3）設備投資を行う目的について（複数回答、回答数 196）

「老朽施設等の更新・補修」59.2%、「生産性向上・省力化」46.9%、「能力増強・拠点の拡大」39.3%の順となっている。

